號七第 No. 7 The Woman's Weekly December 17, 1915 (大正四年十二月十七日)

婦人週報

クリスマス號

(大正四年十一月四日第三種郵便物認可)(毎金曜日

目次

婦人週報第壹卷第七號

祝聖誕祭……小橋三四子
時事週評……
裃袴と洋裝……文學博士 桑木嚴翼
一人一評――安井哲子……
年末の慈善……目賀田逸子
根本さく子、矢吹救世軍少佐……
クリスマス……三谷民子
大井秀子、植村環子、櫻井親子……
平和會議と婦人大會……
小兒の死亡(完)……內閣統計官二階堂保則
女湯改良所感……廣岡淺子
婦人の聲……
紅い林檎と青い林檎――……薄田斬雲
室內の遊戲……木內愛子
オハナシ――少年と狼――……巢鴨村人
子供の智慧……
クリスマスの料理……手塚かれ子
小說『奴隷』……松本蝶舟
慰安錄――煙草屋の娘さ……
一と鋏の天國と地獄……記者
ナターさん……阪東みちえ
時事、女學校だより、個人消息……
新刊紹介……正史上のローマンス……
編輯室より……

祝聖誕祭

△日本化せる聖誕祭

クリスマスは在來の歲暮と結び付いて、殆ど日本に於ても年中行事の一つとなり、都會の目貫の場所では盛んにクリスマスの店飾りをして客を招いて居り、各新聞紙は競つてその景況を揭げ、一般家庭に於ても、クリスマスの贈答が盛んに行はれて居ります。この頃高等女學校一二年の生徒が、オルガンは西洋のものか日本のものかと大分爭つたといふ話を聞きましたが、程なくクリスマスも西洋のお祭りか、日本のお祭りか解らなくなる折が來ませうと思はれます。

△犧牲の生涯

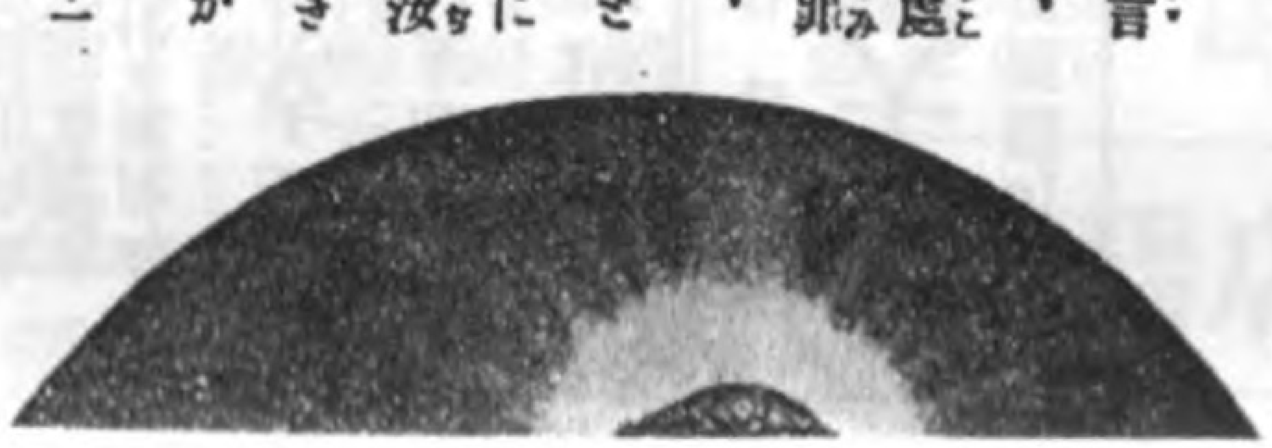
クリスマスのお祭りは輸入されても、その精神を探ぬるものは極めて稀れであります。申す迄もなくこの日は耶蘇基督の降誕を祝ふのです。ベテレヘムのとある槽の中に生れ、年三十にして初めて起ち、三年の公生涯に於て「狐には穴あり、空の鳥には巢あり、されど人の子には枕する處なし」とて息ふ處も無き迄に人類の爲めに全く其身を捧げ、終に十字架上に犧牲の死を遂げられ、愛と正義の顯現であつたその生涯を記念するのであります。

敗北の如き其の生涯より溢れ出でたる精神は、受くるにあらずして、與ふる喜びを學ぶものでありまして、その爲めに今日もなほこの日は特に父母、敎師を初め、恩顧を蒙つた人々に感謝の贈り物をし、

◀闇を照す光▶

イエス起きて女に言ひけるは、女よ、汝を訴へし者は何處へ行きしや、汝の罪を定むる者なきや、女は主よ誰もなしと答ふ、イエス彼女に言ひけるは、我も汝の罪を定めず、行きて再び罪を犯すなかれ。

ヨハネ傳八〇十、十一



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市谷田町二丁目十七番地
發行兼編輯人 小橋三四子　印刷人 小橋三四子
印刷所 東京市京橋區銀座四丁目一番地 福音印刷合資會社東京支店

また頼るべない、淋しい生活をして居る人々を慰める爲めに、特に慈善が企てられるのであります。

△平和な星の光

秋よりも高く清く澄み渡つて居るこの頃の夜な夜な「天使の忘れな草」と詩人に歌はれた星の閃きを仰げば、千九百十餘年の昔、牧羊者の群れが、野にあつて、「天上ところには榮光神にあれ、地には平安、人には恩澤あれ」と天軍の樂と共に、星の導きによつて救主の降誕を知つたといふ美はしい物語りは、繪のやうに浮んで來ます。そして年の瀬に追はるゝ忙しさは全く忘れて、いと長閑に、晴れやかな氣分になります。「凡て勞れたる者また重を負る者は我に來れ、我爾曹を息ません」といふ平和の宗教はかゝる夜半に生れたのであります。これを想ふ時に、私共は聖誕祭に含蓄された味を深く體得すると同時に、之を社會的に活用したいと存じます(三四子)

時事週評

▲皇后陛下の御乳 朝日紙の報ずる所によれば、皇后陛下の御乳がおあまりになるので、皇后宮屬の軍人の子に賜はることになつたさうです。なんとなく昔しの物語にでもありさうな美しい事實でございます。玉體の御健かさを想ふて欣賀の情に堪へざると同時に、我等一般の民草は皆精神的に、國母陛下の御乳を頂戴してゐることを身に泌みて感じます。

▲議會の質問戰 今期議會の質問戰は大浦問題や乃木問題のために中々賑かなやうです。大隈首相も病を推して應答せられるやうですが、誠に御苦勞な次第と存じます。近く彈劾案が野黨から出るさうですが、此上油をしぼられては、政府の人達も中々やり切れますまい。大隈首相の百二十五歳の壽命がこれがために短縮せられざらんことを望みます。

▲支那の帝制 袁氏も遂に皇帝となり濟す間際まで進みました。聯合國がこれに對する聲明がどういふ結果をもたらすか、一寸見物であります。人臣から皇帝にまで經登らうとする袁氏の生涯は二十世紀の奇蹟といつて善いでせう。

▲清子の勝訴 泡鳴對清子の裁判も遂に清子の勝に歸しました。清子は次で泡鳴と離婚するといつてゐるさうです。斯る裁判に婦人の權利が認められたさいふ事は、今後の婦人の强味であると思ひます。男子がこれに依つて婦人を虐たげることを遠慮するやうになつたら、どれほど幸福な事でせう。

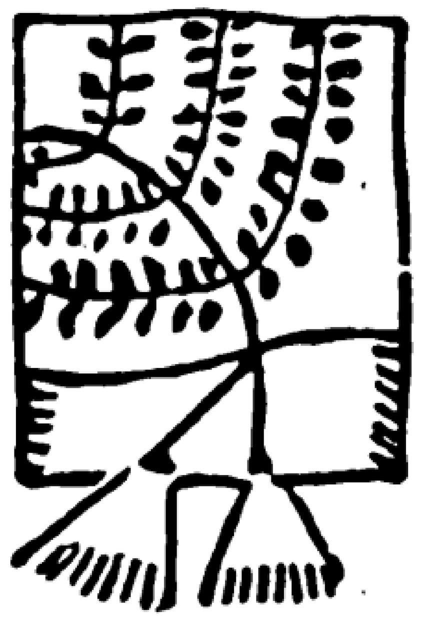
▲歳暮の人心 此頃は路行く人の擧動がなんとなく忙々してゐることを感じます。斯る際に忙中閑の工夫をなして、來ん年の計畫を立てうる人は幸福だと存じます。

(十二月十六日記)

寫眞說明

「闇を照す光」の作者ジョセフ・ノーエル（一八二一年—一九〇二年）は前ラハエル派に屬する蘇國の宗教畫家で、初め圖案家として世に現はれたが、後繪畫に筆を染め、スコツトや、シエークスピアの作中の人物を描いた。其後宗教上の繪畫に沒頭して、「宗教の鑑」では政府から二百磅の賞金を獲た。其の傑作多き中に基督と罪ある女を描いた「闇を照す光」が最も能く世に知られてゐる。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



袿袴と洋裝

文科大學教授 文學博士　桑木嚴翼

△老人と袿袴

近頃御大禮其他で度々婦人の禮装してゐる場合を見たが、何人も直に思ひ浮ぶのは何が最も適當な婦人の禮装であるかと云ふ樣な事であつたと思ふ。而して私の感じた處を露骨に云へば、一般の婦人に對して古來の袿袴が甚だ適當なものと云ひ憎いのが初めの印象であつた。第一、御大禮に參列した婦人は、概して親任官等高位高官の夫人方であるから、中年以上老年に近い人々である。然るに彼の袿袴は從來の普通の習慣から見ると派手に見えるものである。頭髮も略式にすると、十四五歲の少女のおさげの樣に見える。又、盛装の爲めに白粉を付けたりするものだから、よく其が似つかず頗る見苦しく感じたのである。そして晴がましい所で列を爲して歩く場合には、老年の爲めに多少歩行の不自由な人もあらうし、其外一般の人も何となく落着かない樣な風で、餘り體裁のよくないものであつた。

△若い人と袿袴

初めての印象は斯樣に、此舊式の禮服に對して頗る消極的の意見を持ちたい樣な感じがした。然し一方殿上に在らせらるゝ高貴の方々は崇高く美しく見え、それに奉侍する女官方も一般に似合はしく見えたのである。されば服装其ものが必ずしも惡いのでないと云ふ樣な考も同時に浮んで來た。兎に角我々の參列した同じ幄舍内に見える方々には餘り適當なものと云ふ事の出來ないのがあつたのは、正直に云つてよい事實である。之れに比するに私の見た處に依ると、洋服の方が立派で、又歩き方も概して似つかはしかつた樣に思ふ。無論、袿袴の中にも人々が口を揃へて賞讃する樣なものもあつたが、それは概して年の若い方々に多かつた樣に思ふ。必ずしも容貌の美醜を云ふのではなく、全體に於て斯る服裝と場所とに似合しい事を云ふのである。然るに習慣の爲めであるか、婦人自身が、着付方等に注意されたせいか、次の日に見た所では、餘程前よりは見よくなつた樣に思つたのである。

△次第に調和する

實は我々に僭云ふ事を言ふ資格はないので、私の如き野人は燕尾服でも隨分臆劫で、又ボンチ式になるのだから、況して大禮服の剱などが妙な位置に來たりして無論體裁のよいものではないのだが自分等の事は棚に上げて置いて云ふのである。兎に角我々の禮服でも度を重ねるに隨つて調和して來る樣に尠くとも自分丈は感じた。婦人の禮服に於てもさう云ふ事があると云つてもよからうと思ふのである。かく我々自身の目にも次第に慣れて來たのであるが、最近に於て斯樣の服装で參列する婦人の極めて多數に上つた場合に遭遇して一層其感を深くした。即ち其時は比較的に高位高官に限られず、中年以下の人々や、中には少女なども混つてゐて、却々美しく、又賑はしい樣に、見受けられたのであつた。

△私一個の趣味

然し私一個の趣味から云へば洋服の方が好きであるが、兎に角日本古代の服装にも決して棄て難い點があると云ふ事を認める樣になつたけれども、西洋服にせよ、袿袴にせよ、まだ一般の社會には普及しかねる勢であるから、折角の場合に服装の爲めに參列する事の出來ない人の多いのは深く遺憾としなければならぬ事で、此問題は尙研究せねばならぬ事であると思ふ。袿袴も洋服も今日の人々には全く適しないとは見えぬと云ふ事は考へて來たが、今少し多數の人も備へ得べき禮服の制定せられる樣な事が望ましいと思ふ。所謂白襟紋付は服裝其ものとしては決して惡いとは思はぬが、袴が無いから禮装として、特に長い通路を行く場合には適當でない事は事實である。之は今後その道に通じてゐる人の研究問題であらうと思ふ。

△洋服と袿袴

私は今服装そのものに就ての考

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

べを述べ樣と思ふのではない。其の服裝に對する印象の異つた理由を考へて見たいと思ふ。

先づ何故に洋服の方が一般に似合しい樣に見えたか、無論日本婦人の洋服姿は西洋婦人のそれに比べて見劣りするのは事實であるが、其洋服姿でも多くの人の袿袴に比すれば儀式の服裝として返つて似つかわしい樣に見えたのは何う云ふ理由であるか。又同じ袿袴の中でも概して若い人の方がよく見えたのは何う云ふ理由であるか。之は前述の如く容貌の如何ではなく、又年齡の老少に深く關係してゐるのではない。原因は他にあつて、而もそれは兩者共通であると思ふ。

△訓練された心身

即ち洋裝をする婦人は概して外交官の夫人であるとか、外國に長く居たと云ふ樣な關係で多數の人の出入する交際場裡に慣れてゐる人である。随つて歩行其他の態度に練習が出來てゐる。其點に於て平常深窓にゐる、昔流の婦人よりも長所を持つてゐるから、式場を歩行する場合に於て、明かに優つてゐるものであると思ふ。中年以下い婦人の袿袴が割合に似つかわしく見ゆるのは矢張り此等の人々の中には交際場裡に出入してゐる人もあらうし、又一般に今日の學校教育を受けて、體操などで身體を訓練し、其他平常多數の人と往來する場合も多いし、又概して近世的の教育を受けて精神上に昔の人の持つてゐない點がある等からして、歩調なども何となく確實になり、服裝も忽ち身に適ふ樣になるので、詰り心身に適當な訓練が出來てゐる事に歸着すると思ふ。

△根本は修養

結局、洋服姿が概してよく見えると云ふ根本の原因もこれと同じ事であると思ふ。無論、老人でも一種の心身上の訓練を經てゐないと云ふ譯ではないが、稍々時代の相違する事等によつて、萬事が直に今の儀式制度に適合し得ない樣な點があると思ふ。之を以て見ると、服裝問題の根底には心身の訓練、即ち適當なる高等教育の普及と云ふ事が第一の要件として包含せられてゐると思ふのである。之を基本として、其から出立して行く事が服裝の如き、全く外部的の事に對しても必要な事柄であると思つたので、益々一方に於て婦人の修養の大切なる事を深く感じた次第である。

噂

大日本婦人教育會と東洋婦人會合同で、十四日に婦人叙勲者を帝國ホテルに招待した。矢島楫子さんと嘉悦孝子さんだけはどうした譯か招待を省かれた。然も招待者側は毛利公母堂を取卷いて、別室に退き、お客さん方はおいてきぼりの姿であつたので、列席者中には不平の聲があつたさうです。

一人一評

安井哲子

▲安井さんは此頃いつも大きな包を抱へて歩いて居られる。生徒が「先生、それは何ですか」と聽くと、安井さんは、「これは手紙の束です。これだけ返事を書かればならないのです」と答へられた。諸方から來る手紙に、これだけ責任を重んじて、常に苦しい想なして居られる安井さんはどんな事でも引受屋で、頼まれゝば決して嫌といつたことがない。他の人同志話してゐる事でも、側で聽いてゐて私に心當りがあるから、問合はせてあげませうと來る。人のためなら何でもする。常に善事をなして倦むことを知らぬのが、安井さんの特徴である。

▲安井さんは意志の働きの強い人である。意志の強い婦人の獨身生活はどうも扭け易いものだが、安井さんにはさういふ影も認められない。自ら持すること頗る嚴だが、人に對しては只だ寛である。これはまだ兩親が健在で、今だに溫かい家庭の娘といふ氣分が失せぬからにもよらう。又其の生れつきや、信仰にもよらう。兎に角自分の教へた生徒に對しても、誰彼の分ちなく、萬遍なく其の面倒を見て、これを指導しやうといふ精神がいかにも充實してゐる。獨身婦人の教育家は偏頗でいけないといふやうな議論は、安井さんといふ實例に依つて美事に破られてしまふ。

▲安井さんは此頃小さい甥御さんの教育に熱中してゐられる。お母さんの愛を以て甥に對される所がいかにも美しい。安井さんの母親としての情緒が此の甥に依つて開發され潤澤されることは、延いて教育者としての安井さんを、益々大きくする所以であらう。安井さんのやうな女子教育者のあることは日本の女子教育の誇である（くも）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

年末の慈善

「貧者は常に爾曹と偕にあり」

また年の瀬が參りました。この瀬を無事に越す事の出來る者は、これを無事に越す事の出來ぬ人達を思ひやるやうに仕たいものです。慈善が最も有効に行はれる時は年の瀬を最とします。基督も「いと小さき者の一人になせるは、即ちわれになせるなり」と申されました。かういふ際に慈善を心かくる人は地の鹽として社會を益することいかばかりであるか解りません。玆に平素慈善心の深い方々の實驗談をかゝげました事が、皆さまの御參考となれば、記者ばかりの喜びではありません。

慈善の金は自分で作る

男爵夫人　目賀田逸子

△車代を節して

先年横濱に居りました時、根岸にある慈善病院の部長に推され、度々病院に見舞つて見ると、いかにも貧困者の病氣に罹つたのは、みぢめなものでありました。當時ミセス、リンズレーと申す方が會計をして居られましたが、五圓あれば一人の病人が養はれるといふので、有志の寄附を仰いで居りました。東京に歸りましてからも、この寄附金丈けはどうか自分も續け、人にも勸誘したいと思ひましたが、たゞ夫の收入から出して貰ふといふのでは申譯がないと存じ、小石川の自邸から、赤坂の實家等には何時も歩いて行つたもんです。或る眞夏の頃、日和下駄を穿き洋傘を持つて炎天に汗を拭き〱歩いて居ると、髪がこはれて終つたので、通りの眞中で、洋傘を足に狹み、眞赤な顏して髪を結んで居ると、知人が通りかゝり「まあ、目賀田さんどうしたんです」と申しますから「いゝえ、どうもしないんです。歩いたら髪がこはれたので、結ひ直して居る處です」とすまして居つたことがありました。

△五圓でも尊い

女には外に收入の道がないので施したいと思へば、木の葉一つでも無駄のないやうにして金を作るほかありません。然しこうやつて積んだお金を寄附するので、私はいつも「私の寄附金はたゞの五圓でも人様の百圓よりも貴い生命が籠つて居る」と申すのです。邸内に鷄を飼つて、多い月には千三百位も卵を生みましたが、また殆ど生まぬ月もあるので、やつと收支償ふまでゝすから、依然として廢物利用で寄附のお金は作ることにして居ります。

△慈善家ラウダー夫人

逗子にラウダーといふ西洋の老婦人が居られますが、誠に感心な方で、久しく日本に滯在して、靜かに慈善事業、公共事業に働らいて居られます。先頃訪問しますと大層喜んで、私を三階迄連れて行き、いろ〱見せてくれました。其處には器用に棚を釣り、小切れを念よく綴ぎ合せた座布團や、横濱邊りの金持ちの奥さんが脱ぎ捨てた洋服の古で作つたちやん〱こ等が澤山積まれてありました。「これはよく〱貧乏で困る人や火事で燒け出された人等に上げるのです。このちやん〱こは近所のお爺さんが繩をなふのに寒からうと思つて、クリスマスに遣らうと思ふ」と云つて居られました。これこそ眞實の慈善であると、私はひどく感心して、どうか眞似たいと思つて居ります。

塵の如き金を集めて

衆議院議員根本正氏夫人　根本さく子

△乳の代として

慈善は豐かな生活をして居るから出來ると申すのではなく、心掛け一つでどんな時にでも自分より貧しいもの、若くは必要のある公共事業に喜んで金を投ずる事が出來ると思ひます。まだ子供等が乳呑兒の頃、私の家は餘り裕福でもありませんでしたが、私は乳が充分に出て、不自由を致しませんのに引換えて、妹は富裕な生活をして居るにも拘らず、子供にやる乳が少しも出ないで、乳母よ牛乳よと大分費用が嵩んで居るといふのを聞いて、私は感謝として毎月五圓宛を積んで置きました。折柄慈愛館設立の爲め、寄附を募つて居りましたが、日清戰爭當時とて

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

少しも金が集まらず、困つて居られましたが、私は喜んで三十圓を寄附してそれを土臺として諸所の方を勸誘して、可成りの基金を集め得たことがありました。

△屑を賣つた金

私は婦人矯風會を初め、その他の會費や寄附金は、成るべく自分で作り度いと思ひますが、なか〳〵むづかしいことで、初めの間は車代を節約したり、新聞屑紙類を賣つた代金を蓄めて置きましたが、それでは間に合はなくなり、近年はライオンの洗濯石鹸のお取次をして、僅か斗りの口錢を積むことに致しました。それで半期に三十圓位、芝支部として矯風會に寄附することが出來ます。新聞や屑紙は石鹸を包む爲めに、殆ど賣ることが出來なくなりましたが、紙屑は大箱一ぱいでも一錢か一錢五厘ですから、一切賣らぬことにし、包紙に出來ない小さい紙屑は焚付けにして焚付けを買ふ金を見積つて、施しの費用に蓄めて置きます。庭の木の葉や枯枝なども集めて、風呂に焚き、同じくその代價を見積つて積んで置き、年末などの慈善の費用に致します。

△小旗を賣つて

本年は家庭製作品奬勵會の小旗を二萬七千餘賣り、凡そ二百五十圓斗りの利益を得て、その內から十五圓程、もと牧師をした方で昨今病に罹り、賴る處もなく困つて居る方があるので、その方に差上げ、殘額は皆矯風會の敷地を買入れる費用の中に寄附しました。然し私は氣が弱いのでこれ丈けの旗を賣るには、諸所にお賴みに回りましたが、その都度手土産等を持參したので、殆ど五十圓斗りは、電車代を合はすれば、自分のお金を持ち出して居ります。とにかく豊かでもない私達が、少しでも慈善や、寄附が出來ますのは、かういふ、工夫を致せばこそであります。

慈善鍋の話

救世軍少佐 矢吹幸太郎

△昨年は約二千圓

慈善鍋の始められたのは十數年前の事で、其頃は私共が車まで曳いてやりましたが、昨今は數も増したので大分大規模にやつてゐます。昨年は約二千圓の義捐金が此鍋に依つて得られましたが、今年も十五日から卅一日迄、三十の鍋を市中要所に据ゑて、六十人の人が晝夜交代で働く筈です。義捐せられる人の種類は雜多で勇み肌の印伴天があれば、山高帽の紳士もあり、可愛らしい子供も、尠くないのです。

△貧民窟の移動

昨年は四千籠を深川本所淺草下谷芝四谷小石川本郷の貧しき人の家々に配りましたが、本年はそれより五百個丈增すつもりでゐます。此慈善籠を贈るためお正月が來ると云ふに餅を買ふ事も出來ない氣の毒な家を調査しますがそれに依ると貧民窟はだん〳〵日暮里方面へ押されてゆく傾向がある樣に思はれます。

△百俵以上の餅

御存じの通り、竹籠の中には紅白の一升餅と蜜柑五個手拭ライオン齒磨新刊雜誌聖書等を入れますから可成りよいお土產になります。餅は百俵以上を二三日で搗上げねばならぬので、小さい店では困りますから毎年殆んど鹽瀬で搗かせて居りますが、宮內省あたりの御用を勤めてゐる同店の餅が貧民の口を樂ませると云ふ事は面白い對照ではありませんか。手拭雜誌ライオン齒磨等は大部分寄贈品です。

△餅の味を忘れた人

今年は二十七、八、九、卅の四日間に此籠を配りたいと思つてゐますが、此頃では彼等の中には又今年もクリスマスで慈善籠が貰へるなど待つてゐるものもあるでせう。最初餅を配りました時は、三年も五年も餅の味を忘れたと云ふ氣の毒な人に出遇ひましたが、當今では其樣な事はありません。此籠を受けて後彼等が如何にするかは特別に調べもいたしませんが、籠だの手拭だのは前年贈つたのだと思はれる樣なのが、煤けてぶら下つてゐるのを、見掛ける事があります。

△丁寧に贈る

籠を持つて貧民の門を訪れる時は、決して呉れてやると云ふ樣な尊大な態度はとりません。贈物であるから何卒お納め下さいと云ふ樣に丁寧にいたします。餅を紅白にしたり熨斗をつけたりするのも此爲めであります。かうして十數年來實行して來た處に依ると此結果は非常によい樣に思ひます。それは鍋に入れられる金高がだん〳〵多くなつて來るのでも證據立てられませう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

クリスマス

我邦の新しい年中行事

クリスマスの面白い思出

三谷民子

△新聞賣子を招待

七八年前の事、私が米國のメレント州のボルテモー町で、クリスマスを迎へた事がありました。これは普通のやり方と一寸變つて居りまして、市の有志婦人の主催で町の新聞賣子を招待すると云ふ非常に美しい企でありました。私が居りました家の夫人も其の主催者の一人でしたので、私にも其の席に出て給仕の役をして吳れと云ふ事でしたから、何かお話しでもして、子供達を少しでも慰めてやり度いと思ひまして、出席する事に致しました。

△可憐の子供の話

市の公開堂に集まつた三四百人の子供は、七八歳から十三四歳の少年でしたが、日常は靴さへ穿いて居ない子供達が新らしい靴下、靴、ネクタイ等を與へられて一かどの紳士のやうに奇麗になつてテーブルに着きました。十四五人も並ぶ事の出來るやうな、大きなテーブルは二列に並べられ眞白なクロースに覆はれ所々に花を飾つて紳士としての取りなしをして居りました。一同の着席して祈禱が濟みますと、食事を初めたのです。

口にした事も無いお甘い食事に、彼等は眞のディナーであるといふ感を以つて何とも云へない喜びを顏に出して食して居りましたが、其の内の一人で、十歳位になる子供が食事に手も着けやうともしないで、頭を垂れて淚を流して居りました。その樣子が如何にも不思議なものですから、一人の婦人がそつと聞いて見ますと、自分一人かうした立派の御馳走を頂くに忍びない、自分の家には一人のお母さんが淋しく自分を待つて居て吳れるから、是非お母さんにもこれを食べさせてやり度いと申すのでした。それを聞きました一同の人達は等しく泣きましたが、而して其の御馳走を全部もたせて、返すやうにはなつて居りませんでした爲め、またその子の傍に行つて「あなたのお母さんの處へもあげますから、安心してお食りなさい」と申しますと子供は喜んで住所と姓名を書いて渡し、俄かに元氣付いて食事を致しました。それから一方母親の處へは直ぐに膳部を運ばせましたが、この時の樣子は今でも美しい思ひ出の一つとして忘れる事の出來ないものです。

△八切れの一つを

これと同時に、私が聞いた話で面白いと思つて居りますことは、ノウスフィールドのムーデーが未だ九歳の折、丁度父は亡くなりましたし、家は非常に貧しい其の日の暮しにさへ差しつかへる樣な時でした。丁度明日はクリスマスで、近所の子供は其の聖日を祝ふ用意に忙がしい時でした。けれどもムーデーの家には、明日の用意どころか今夜食すべきパンさへも足りない樣でした。母は其の少しのパンを家中の人數の七切に切つて食事をしやうと、思つて居りました時に、寒むそうな風をした乞食の子供が來ました。この時ムーデーは母に願つて其のパンを八切に切つて、一切を乞食に與へました。後年ムーデーが、ノウスフィールドに學校を建て、專心傳道に從事致しました時、彼と共に働いたサンキーが一切のパンをムーデーから與へられた、憐れな乞食であつたといふ事を話された事がありましたが、前の話を連想されて、いつでも思ひ出す每に「小きものになせるは我になせるなり」と云はれたキリストの言葉がうなづかれます

露國のクリスマス

包高氏夫人　大井秀子

△正月の七日

あちらではクリスマスの事をヨルカと申しまして、丁度日本の一月七日に當ります。此日から七日間ばかりの間は毎日親しい方々をお招きしたり、又招ねかれたりして、非常に樂しいお祭りの一つとして居るのです。而しヨルカは專ら子供のお祭としてありますから四月のパッサー（復活祭）のやうな賑やかさはありません。それで

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA
Digitized by Google

も六日には家族全體で食堂なり客間なりにクリスマス樹を飾りまして、一日仕度を致します。そうして夕方からは白蠟を點して家内中一所に集つて、ヨルカの前夜を祝ふのであります。この夜がサンタクロースの來ると云ひ傳へられて居る晩なのですから、子供達は自分の處へどんなお土産を持つて來て呉れるのかしらと云ふやうな、一種の好奇心と希望とに充されて早くから床に就き、七日の朝は非常に早くから枕元に置かれた玩具やお菓子を持て喜ぶのです。

△子供のお祭り

七日の朝は先づ會堂に參りまして、一と通りの儀式を濟ませて歸宅致しますと、子供達は兩親に改めて「お目出度う」を申します。この時に兩親は子供達に色々な贈物をするのです。

夜はヨルカの當夜ですから澤山お客樣をお呼び致しまして、先づ食事の御馳走をするのです。それから大勢で澤山の白蠟に火をつけて、ツリーに立てたり、室の柱に立たりして愈々遊びに移るのです。この遊びは子供が主になつて盛に日頃好んでして居るダンスをしながら、歌を唱つたりして大騷ぎに騷ぐのです。ゆつたりとした燈火の光に、純白又は眞紅の着物が、一際美しく、又崇嚴に見受けられます。

△雪國の美しい情調

御承知の通りロシアは有名な雪國でして、殊にヨルカの時分には毎日〳〵細かい雪がよく降りますから、夕方なんぞ戸外に出ますと灰色の空のあなたに見える幾つもの窓からヨルカの燈火がもれ元氣のいゝ、喜びの聲は降る雪の音に交つて切れ〳〵に聞えます。こんな事は迚も日本のクリスマスでは味ふ事の出來ない情調だと存じます

米國で祝つたクリスマス

植村環子

△親切な待遇

私は昨年亞米利加で、プリンモーアの或る家のクリスマスに招かれました。私の父が其の家の方達を存じてゐたのですが、柔しいお爺さんとお婆さんでそれは〳〵親切に迎へて下さいました。客は私のほかにもう一人、それから女中が二人居りましたが、朝の内はクリスマス樹の下で、種々の贈物を分けて戴きました。午後は親類の方達が見えて、大きな影の男までキャンディーの箱などを貰つて、それを抱へていかにも嬉しさうに飛び廻つてゐる狀などは、一寸見られぬ圖だと思ひました。夕方から教會のお祝に出かけましたが、これは餘り變つた事はございません

△寄宿舍のクリスマス

學校ではクリスマスの時には大抵生徒は家に歸つてしまひますので、餘儀ない事情で歸らぬ者が二三人、寂しくクリスマスを致します。十二月の二十日頃には郷里のお兩親や、お祖母さんや叔母さんなどから、クリスマスの贈物を一杯入れた大きな箱が屆きますが、それは直ぐには開けずに、二十五日まで樂しみに其儘にしておきます。クリスマスの日に其中から出て來る種々な物を見て、大騷ぎして喜びます。それを互に交換して、クリスマスの歌をうたつて靜にお祝ひ致すのでありました。

明治の始めのクリスマス

櫻井ちか子

私がクリスマスと云ふものを始めて見たのは明治七年であつたと思ひます。築地六番にカルザースと云ふ人の學校があつて、其學校は今の女子學院の前身でありましたから、クリスマスには盛んな式がありました。其時始めてクリスマス、ツリーなどを見たのですが、儀式は其當時も今と變りはなかつた樣です。唯、横濱の二百十二番の女學校では毎年非常に盛んなクリスマスが行はれ、米國あたりから美しい人形など高價なものを送つて來て生徒に贈られたものでした。今はあの樣な事はなく、皆こちらで集めて居る樣です。

郷里のクリスマス

雲舟生

私は今でもクリスマスになると、郷里の教會が慕はしくなる。十年ばかり前、私は郷里の教會のクリスマスの作者であつた。歌を作つたり、問答を作つたりして婦人傳道者の手助をしたものです。其の婦人傳道者は今でもわが郷里に働いて居られる。所が私は東京といふ波の荒い社會に放浪して居つて、歌や問答を作つてゐる閑がなくなつてしまつた。併し其頃に養つた信仰は今でも私の根本的活力となつてゐる。郷里に歸つて、もう一度無邪氣な心で、クリスマスを祝つて見たいと想ふ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

平和會議と婦人大會

日本からも婦人の代表者を出す

▲米國婦人界の發議

今回の世界的大戰亂に就ては、何れ何處に於てか一大平和會議が開催されるであらうとは何人も豫期する所でありますが、最近に於て米國市加古の人で社會改良家として有名な婦人ミス、ゼイン、アダムスを會長として、此平和會議と同時同所に於て世界的婦人大會を開催しやうとする運動が米國に於て盛んになり、歐羅巴の婦人界も之れを贊するに至つたのであります。

△米國よりの來書

之について此程日本女子大學校長成瀨仁藏氏宛に米國より來書あり、此婦人大會には日本婦人よりも代表者を出席させてくれとて、四五名の人を名指して來ました。其中には矢島揖子津田梅子新渡戸博士夫人と桑港領事沼野氏夫人の名が見えたと云ふ事です。此問題につき過日婦一協會の例會席上で種々意見の交換がありましたが、まだ何れとも決定いたしません。而し日本婦人が此世界的の婦人大會に參列すると云ふ事は非常に望ましい事であるとは一般の意見であります。

小兒の死亡（三）

内閣統計官　二階堂保則

▲育兒の智識なき國民

前述の如く日本でも母たる者が働く爲めに十分小兒の養育に盡す事が出來ぬものが多くなつて來ました。上流社會に於ては母乳を與へて養育し得る餘裕が充分にあり乍ら一種の虛榮心から牛乳などで人工的育兒法をするのは無意味な歐洲カブレであつて、畢竟上流者の育兒の知識の足らぬ事を表白してゐます。而し乍ら吾國に於ては慈善とか衞生とかを口にする人々でさへ育兒の觀念に乏しいのであるから、貴婦人などに育兒の智識なきは或は當然と申してよいでせう。一般に非實用的の敎育が行はれてゐるので育兒の如き極めて大切なる智識も缺けてゐるから、如斯乳兒死亡率が高くなるのであります。

▲二歳から五歳まで

さらば一歳以上の子供は如何であるかと申せば、先づ一歳から二歳までの子供の死亡率は、明治三十二年から三十七年までの五年平均に依ると人口千に對する三十人三二一で、三十八年から四十三年の平均に依ると同上四十四人九三であるから、其處に二割弱の增加を見たのであります。二才から三才までは二十七人七、三才から四才までは十八人二三、四才から五才までが十二人〇八と、云ふので、尚一才から五才までを比例して見ると、二十六人五五であります。

▲歐洲諸國との比較

之を歐洲諸國に比すると佛は十三人一三、獨は十五人八八、英は獨と大差ないのであるが、之に對し我國の二十六人五五は殆んど倍以上に當つてゐます。此世界無比なる小兒死亡率（二才以上と五才まで）は如何なる原因に依るのであるか。想ふに日本人は殆んど母乳を授けて居りますが、乳兒が滿一才以上になると一人手に育つと云ふ所から、母の手を放される、其際から養育の不完全が小兒の上に强く働く爲めに、二才以上の死亡率が高くなるのではあるまいかと思はれます。

▲小兒死亡の原因調べ

右は育兒の智識が足らぬ事を語つてゐるが、尚も一つの證跡として小兒死亡の原因を訊ねて見ますと、一歳迄の死亡原因は、先天的弱く生れたもの、次に腦膜炎（實は消化器病である場合が多い）第三が呼吸器病、第四に消化器病と云ふので此れは歐洲諸國と餘り違はない樣です。然るに一歳以上になると歐洲では呼吸器病で死ぬものが倍以上になり、消化器病が半分程に減少するが、日本に於ては呼吸器病が多くなるばかりでなく、消化器病も遙かに增加するのであります。之等は要するに我國人の養育法の不完全を示したものでありますが、此寒心すべき狀態を救ふ爲めに、我國婦人が大いに育兒の智識を涵養されん事を望むのであります。（終）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女湯改良所感

廣岡淺子

△見苦しい男女混浴

東都の女湯改良に關聯して、宿屋の湯、溫泉塲等は、大に改良を要することがあると存じます。私が嘗て信州から、上州にかけて、養蠶取調らべに行つた時、磯部の溫泉に立寄りましたが、此處は男女混浴で、隨分雜沓を極めて居りました。これは女湯に三助が居るよりも、もつと見苦しい且つ危險なことであると存じます。三助は多くは無敎育な從つて感覺も疎淺な者である上に、もう一種職業的に麻痺して居りますが、溫泉塲の男女混浴に至つては、感覺銳敏な紳士淑女方が、裸體展覽會を見るやうなもので、一層危險の度も、見苦しさも、多いと申さねばなりません。

△諏訪湖畔の溫泉塲

私はまた諸所を旅行して、宿屋の湯に入る時、何時も不愉快な思ひをします。一と年諏訪湖の邊の名高い宿屋に泊つた事がありましたが、湯塲は旅客が各自自由に入浴する事になつて居つて、大きな風呂に、男も女も皆一緖に入るのであります。私は早くまだ誰も居らぬ處を見斗らひ、入浴して居りますと、後から一人の男が裸體で湯の中に這入つて來ました。私は老年の事故、何とも思ひませぬが、隨分野蠻的なことゝ心地惡く思つて居りました。すると私が上る頃に若い三十位の婦人が其處に入浴に來ましたので、私は言葉をかけて「あなたお一人ですか、今湯の中に男子が一人這入つて誰も居りませぬ故、誰かお伴れの人と御一緖にお出でなされ」と注意してあげました。其の婦人は人品のよい人でしたので、大に喜んで、自分の部屋に引返して行かれましたが、若も私が注意しなかつたら、湯塲は隨分部屋部屋から離れて居るので、どんな惡戯をされても、一寸の聲を出した位では聞えはせぬ故、如何にも危險なものと思ひました。

△貞操の德を一層高く

其の後此の事を或る東京の家で咄しましたら、あの宿屋へは東京の、俳優の名高いのが行くのでその時は、中々繁昌する、それは方々の奥樣やお孃樣達が、其處に往つて、丁度其の俳優の這入る頃、一緖に湯に入る事をこよなき樂としているのだと、惡口かも知れぬが咄されたことがありました。兎も角も日本婦人の貞操の德を、もつと／＼高く淸くして、男女とも動物的な獸のやうな慾情を耻づるやうにしたい。そして斯くの如き野蠻の風習を大に改善しなければならぬと思はれます。どうか貴誌の主張によつて、一般婦人の一時も早く覺醒され、かやうな弊風の次第に改善されるやうにと願はれます。

婦人の聲

ながしを撤廢せよ

女湯改良論には至極贊成ですが、私はながし撤廢論を主張します。人間の手は自分自身のからだのどこにでも届く樣に作られてあります。誰でも試みにじぶんのからだの何處に手の指の届かない處があるか試めして御覽なさい。届きにくい背中の上部の一點でも少し加減をすれば届きます。病人なら兎に角健全な手を持つて居る人間が一體他人に背中を流して貰ふといふのが間違つて居ます。私は曾て湯屋で美しい婦人が三助にもたせた手をあげさせて腋の下を流して貰つて居るのを見て驚いた事があります。手の最も届きいゝ腋の下の樣な處を三助に流して貰ふといふ事は笑ふ人もあるでせうが背中を流して貰ふのを怪まぬ人はまだ世間に多うございます。手拭の一筋があれば自分で背中は充分にながせます。三助の存在の必要が一體どこにあるのでせう。まして、いゝみえにながしをさるに至つては言語道斷の沙汰です。（幸）

女湯の現狀

今の東京の女湯はナガシを取る人達の湯桶が二列に一杯並んでゐて、ナガシを取らぬものには湯桶一つなく、又洗ふ塲所もないといふやうな事が度々ありますので、止むを得ずナガシを取らされます。されば御社の主張せられるやうに是非改良していたゞきたいものです（松子）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

紅い林檎と青い林檎

胃腸病者としての余が養生法（承前）

薄田斬雲

△人間の生活力

死んだ卵、腐つた卵の話も大分續きましたが、扨て然らば我々は腐つた支那卵を澤山に食はされて居て、其のたびに吐くも下るもせず、「今日は卵と云ふ立派な滋養物を食つた」と云ふ氣持で滿足して居られるのも何う云ふものだらうと云ふ疑問が當然に起ります。

だが、人間の體は靈妙至極なもので、簡單な理窟丈けで解決が付きません。つまり生活力の旺盛な者は、何を食つても滋養物になるのです、豚やあひるは、廢物や腐敗物を食つて結構達者で居る、乞食はごみ箱をあさつて青い顔もせずぴん〳〵達者で居られる。これは皆な其の活力が強いからです諺にも「滓が身になる」と言ひます、人間は腐つた卵を食つても食つた丈け身になる樣な活力を旺んにしたいものです。

△呑んでかゝる精神

之には第一に精神の強烈と云ふ事が必要です、已に食ふときめた以上は、何を食ふにしても『今自分が食つて居る物は最上の滋養品で、見る間に自分が肥つて行くのだ』と云ふ意志を抱く樣に心掛けるのです、つまり何物にも勝ち、禍を轉じて福となすと云ふ強い心を勵ますのです。江戸子式に何を見ても氣味が惡いとか、汚ないとか言つて脅へて居る樣な弱い精神を無くして、百難來れよ、百害來れよ、百の傳染病襲來せよ、我は盡く汝等に打勝つてやるぞと言つた田舍者式の即ちクロンウエル式の度胸者になるのです、こんな精神で以て一切を呑んでかゝると腐つた卵も立派に身になるでせう併しこんな精神を以て上等な卵を食つたら一層有利に身になるでせう、何にせ、人間は第一に活力を旺盛にし、呑んでかゝる事が第一です。餘り腐つた卵のお話ばかりでは厭や氣がしますから、今度は小生十八番の林檎のお話しをしませう。

▲林檎の最上種

青い林檎と言つたら、皆さんは冬瓜見たいな苦いあの位に思ふかも知れませんが、紅い林檎は女中の格で、青林檎は奧樣の格です、味も上品、香氣も上等です、果肉の齒障りも爽かです。

私は林檎の本場の津輕の中心、弘前の城下に生れて漸つと歩ける頃から林檎と葡萄の下で二十歳迄育つたのです、津輕林檎は北海道よりも盛岡よりも秋田よりも確かに上等です、函館では津輕林檎は北海道林檎よりも一割高價だと云ふ位で、北海道林檎は肌は滑らかなばかりで味は落ちます、寒過ぎるのと地質の關係でせう。秋田や盛岡は津輕と近いが盛岡は津輕よりはズッと暖かい樣です、食ひ比べると津輕産が一等です。

明治十年頃に、西洋林檎と西洋葡萄の苗が、始めて津輕に輸入されました、其時には五十種位もあつたもので、林檎も早、中、晩と大、小、長、圓、青、紅、紫、黃など多種多樣之を五十種も並べてお目にかけたら、之れでも林檎かと驚かれる樣な面白いものがありました。大きいものは周圍一尺二寸位のもあり、又成熟すると、身が龜裂を生ずるものがあり、黑紫など云ふ名を取つたのは熟すると紫色を帶んだものであつたり、駝卵と云ふのは駝鳥の卵の形だと云ふのでそんな名が付いたり、一ツ々々變つた味を持つて、床の間へ飾つて見て居る丈けでも、大した樂みでした。

▲林檎の種類

處が賣物と云ふ方面からだん〳〵に淘汰されて今では滿紅と言つて昨今市中の小賣店に見える紅いのと雪の下と言ふのと二種しか殘つて居ません、雪の下は雪が降つても生つて居る晩種であつた爲めに其の名を得たので、保存にも適し味も上等です。併し私の好むのは黃色や青色を帶んだ種類です榲桲形と云ふのは榲桲そつくりの形で黃色い處へほんのり紅味を帶んで甘酸適し肉が軟かで一時は林檎の王と言はれたのですが、生産が少ないのと保存が面倒な爲めに東京人の口に味はれる機會を得ずに滅亡しました。今では道樂な林

年賀廣告取扱

本社は愛讀者諸氏の御便宜を圖

けます。就ては次の特別割引廣告料を以て御取扱ひ致しますから御希望のお方は來る廿三日までに本社宛御申込を願ひます。

次に同廣告の雛形をお示しいたします。

謹賀新年

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

檎園主が自分の食用に一二本植ゑて居るに過ぎません。ニュートンと云ふ名のもありました、多分ニュートンが實の落つるのを見て引力を考へた時の種類でせう。之は雪の下以上の晩種で十一月になつても靑く齒が立ちませんが保存して、翌年の春になると丁度食ひ頃になるのでした。

△林檎の鑑別法

西洋人は行きなり靑林檎を手に取つて香を嗅ぎます、香りの高い程味が好いのです。そして紅林檎をば料理用として生食には用ゐないと言ひますが、私は黃ばんだ靑林檎の時代が今に來ると思ひます。東京人は林檎が紅いものと心得、靑い林檎は食はず嫌ひに嫌つたから折角の珍品も今は種類が絕えたのです。

それに滿紅と云ふ紅林檎は酸味が多過ぎるから、口がしめられて渇が來ます。之が甚だ不快なので酒飮みは嫌ひます。私の國で酒飮みが食ふのは黃色な林檎で、酸味が少しもない九十九號と云ふのです。之は香氣も好く味も好いのです、東京人も大に靑林檎を要求して、日本に上等な生食用の林檎を流行させる樣に願ひたいです。

扨て當節出盛りの滿紅と云ふ紅林檎を鑑定するには、成る丈け赤黑い、そして黑い星の澤山にあるのが成熟した證據です。鮮紅色のは見た目に美しいが、味は劣ります。一體日本は雨が多くて日光が足らないと言ひますから果實の糖化も足らないのです處が賣る專門に顧客の氣を迎へる爲め且つ虫害を防ぐ爲めに、林檎も近年は紙の袋をかけるから、日光が愈よ足らず、そして夜露の冷却が足らず愈よ不味なものになります。文明の弊の一つです、林檎も何方かと言へば肌のきたない色の黑い奴が美味なのです。滿紅など云ふ不穩當な名の、酸い紅い林檎を食ふあたりは西洋かぶれの勘違で、墮落せる文明でせう。

室内の遊戯

バチエラ、オブ、アーツ　木内愛子

西洋では日本のお正月のやうに一定した遊戯と申すやうなものが定まつて居りませんで、唯普通のダンスで成る可く多くの人が知つて居るやうなのを擇んで、唱歌や樂器に合せて致すやうです。それでこゝに申上げやうと致します遊戯もクリスマスや正月とばかり限らずに、お座敷でする團體遊戲として二三種御紹介致し度いと存じます。

△人取り

これは先づ團體が二組に分れまして、各一人の大將を定めて、其の人を眞中に入れ、殘の者は、各々輪を造り、唱歌又は樂器に合せて三歩づゝ前後に歩き歌の都合のいゝ處でその運動を止めましたならば各輪の大將は敵に知れないやうに自分の味方のものを一人宛輪の外に選出します。選ばれたものはお互に引つぱりつこをして負けましたものは敵の捕虜となるのです。引つぱりつこを致します時に、手拭か輪を持ちますと辷べらなくてよろじう御座います。こうして勝負がつきましたら又前の樣に幾度も繰り返します。大將が味方同志を擇ぶ時に敵に悟られ無いやうに致しますから、大きな人と小さい人と勝負するやうになつたりして面白うございます。

△鬼問答

全體の中から一人の鬼を擇びまして殘の者は二列に並びます。すると鬼は甲でも丁でも自分の勝手な人、例せば「丁さん鉛筆がありますか」と云ふ、問ひを出しますと、これに丁は答へなくて、丁と向ひ合つて居る丙が直ぐに「持つて居ます」とか「ありません」とか云ふ答へを致します。その答へが違つたり、まごついたり致しますと今度其の人が鬼になるのです。問ひは成る可く面白いものを擇んで致します。

鬼

乙丁、、

甲丙、、

△鬼を中に

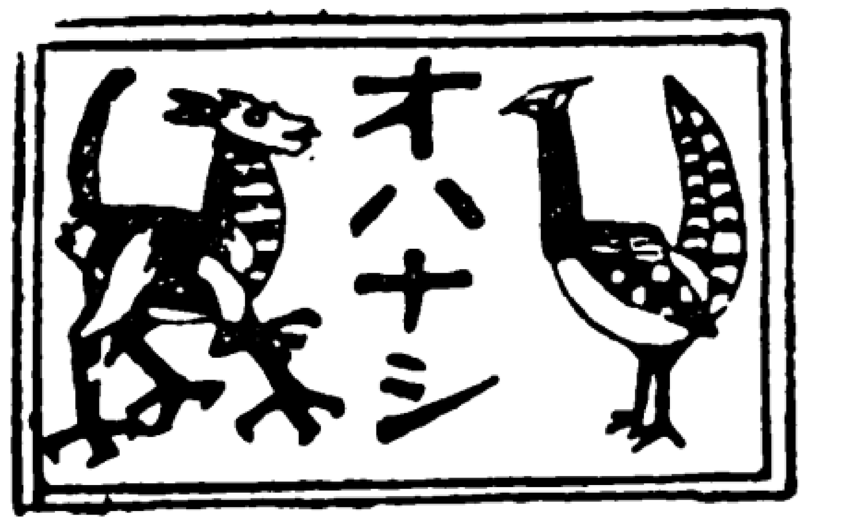
今度は一人の鬼を眞中にして全體が輪を作つて鬼の廻りを歌か樂器に合せて廻り歩きます。歌が一と切になると同時に一同は靜止します。すると鬼が誰かの前に座つて「八百屋では」或は「魚屋では」と問ひかけます。この時鬼に座られた人は八百屋なり、魚屋なりで賣つて居ます品物を三つだけ續けて答へます。けれどもその内口に出し安い大根とか鯛とか云ふものゝ名は除いて他のものを三つだけ答へる事に致します。間違つた時には鬼になります。幾度も〳〵鬼になつた人には何か餘興をさせるのも面白うございます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

り、來る大正五年一月一日發行の元旦號に名刺交換廣告欄を設

廣告料　五行　金參拾錢
　　　　十行　金六拾錢

何市何區何町何番地
何　某



少年と狼

巣鴨村人

昔フランスにラフハエット侯といふ有名な人がありました。其の小さい時には、お母さんからギルバートと呼ばれてゐました。

ギルバートのお父さんもお祖父さんも、曾祖父さんも大膽な偉い人でした。ギルバートはそれが自慢で、自分も大きくなつたらそのやうになりたいと考へました。

ギルバートの家は田舍で、近所に大きな森がありました。まだ小さい時から、お母さんと一緒に森の中をよく歩きましたが、

「お母さん、私がついてゐるから怖くはないよ」とよく言ひました。

ある日大きな狼が森の中に現はれて、百姓の羊を殺したといふ評判が立ちました。

「どうかして、其の狼に遇ひたいものだ」と小さきギルバートは言ひました。

まだやう／＼七歳でしたが、森の中の大きな狼のことばかり考へました。

「今朝散歩をしませう」とお母さんが言ひました。

「散歩、嬉しいな」とギルバートが言ひました。「森の中で狼に遇ひますよ。でも怖がつてはゐけない」

お母さんは、狼が出て來はしまいと想つてゐたので、ギルバートの言葉を笑ひました。

森の中へ入つて間もなく、お母さんは樹の蔭に坐つて、昨日買つた新らしい書物を讀み初めました。

ギルバートは近所の草の上で遊んでゐました。

日は暖かで、花の中で蜂がぶん／＼言つてゐました。小さな鳥が靜かに歌ひました。ギルバートは遊びながら向ふを見ますと、お母さんは讀書に餘念ないのでした。

「狼に遇ひたいな」とギルバートは獨語を言つて、窃と森の中へ奥深く驅け出しました。目を丸くして見廻はすと、樹の上に栗鼠が遊んでゐたり、路を兎が横切つたりしました。

間もなく廣い場所に出ましたが、そこは樹が生ひ繁つてゐて、路が無くなりました。ギルバートは路のない所をがさ／＼と入つてゆくと、あたりは森閑としてゐました。

緑の廣い場所を越しますと、森は益々深く又薄暗くなりました。

「茲らが狼の出さうな場所だ」とギルバートは想ひました。

すると間もなく樹叢の中をがさ／＼いふ足音がしました。

「狼に違ひない。直ぐ側に來るまで、私のゐるのが解らんだらうから、飛びついて頸を締めて、殺してやらう」。

動物は次第に近づいて來ます。足音が聽えるばかりか、鼻息まで聽えて來ました。ギルバートは靜に立つて待つてゐました。

「咬みつかれるかも知れない。鋭い爪で引掻かれるかも知れない。でも、私は大膽なものだ。泣くものか。この腕で息を止めてやる。樹叢の中から狼を引き出して、お母さんを呼んで見せてやらう」

獸は直ぐ側にやつて來ました。樹の葉をすかして見ると、其の姿が見えるのでした。ギルバートは息をせい／＼して、足を堅くして、飛びかゝる用意をしました。

「こんな大膽な子供を持つたお母さんはどんなに嬉しいでせう」

そら狼だ。毛のもぢや／＼した頭が見える。大きな丸い頭が見える。ギルバートは、隱れた場所から飛び出して、其の頸を抱へました。

所が獸は咬みもせず、引掻きもせず、また吼えもしませんでした。でも、躍り上つて、ギルバートを投げ飛しました。そして廣い場所へ走つて行つて、立留つてギルバートを眺めました。

ギルバートは直ぐ起き上りました。何處も怪我をしてゐないので、獸を靜に眺めました。

所がそれは狼ではなく、樹叢の中に若葉を喰ひに來た仔牛でした。

ギルバートは氣まりが惡くなつて、大急ぎでお母さんの側へ驅けてゆきました。眼は涙で一杯でしたが、それでも大膽らしく見せかけました。

「まあ、ギルバート、何處へ行つてゐたの」とお母さんが言ひました。

ギルバートは自分のやつた事を話して、唇を嚙んで泣き出しました。

「泣かなくつてもよい。お前は大變に大膽な兒です。狼でなかつ

たのは、仕合せでした。お前は非常に危險と思つた事をやつたのですから、矢張偉いのです」とお母さんが慰めました。

亞米利加の獨立の時に、フランスから種々とワシントンを助けたのはこのギルバート、後のラフハエット侯でした。

子供の智慧

膨れたかき餅

ふみ子（三年九ケ月）はお祖母さんが外出のお土産に大好きなかきもちを戴き大よろこびで喰べてゐました。ふと手に持つたかきもちの片側にぷつと大きく燒け膨れた處を見つけて指で撫でゝゐました拍子に何か思ひ出したらしく「お祖母ちやん、そこの綾子さんのお宅の前のね、道のところに大きな石が丁度こんなになつてゐますよ。危ないんですよ。お祖母ちやん暗くなつてあすこ歩いて來て危なくなかつたの」と聞いてゐました。（やへ子）

蜘蛛の父さん

常代さんは學校の先生の一人娘で、數へ年の四つですが、蜘蛛が網をはつてゐるのを見て「父さん、蜘蛛にも、父さんがあるんでせうね」と、聽きますので、父さんが「さうよ」といふと「蜘蛛の父さんも矢張學校の先生かしら」。（秦）

クリスマスの料理

女子大學教授 手塚かね子

純西洋式でなく日本人の口に合ひます樣な極く簡單な當夜のお料理をお話し度いと存じます。

△ゴールデンスープ

材料（スープストツク、牛乳各一合五勺、玉子黄味二個、バタ、メリケンコ各大匙半分、鹽、胡椒少々）

バタを鍋で溶しましたら、メリケン粉を入れていため、これをストツクで溶いて更に沸立せ、黄味を牛乳でよく溶いたものを入れて、弱い火にかけてどろ／＼になるやうに煮ましたらば鹽と胡椒を入れます。パセリを少し散して出しても、又アルハベツトのマカロニを茹でゝ、クリスマスとかメリーとか云ふスペルを散してもよろしう御座います。

△蒸鯛

材料（鯛、パセリ、ポテトー、ソース、鹽、）

鯛は鱗を取らずに腸を下側になる方から出し、腹に鹽を振つて熱湯で蒸します。この時胸鰭が立つて居るやうに、箸か何か一寸あてゝ置いて頂き度う御座います。頭から尾の所までの皮を取つてこれにマヨネンソースを濃くして塗り、皿に盛ります。その上に瓶詰の瓜、ラツキヨー等の野菜で飾を付けてもよろしい。これにパセリを付けて出してもよろしい。或はポテトーを茹でゝ糸で花のやうに切つて、その眞中にパセリを細かく切つたものを載せて鯛の周りに置いて附け合せと致します。

△海老のライスカレー

材料（海老、人參、馬鈴薯、青豆、ソース、米、カレンズ）

海老は車海老又はさえまきを用ひます。脊腹を取りましたらば鹽湯でゆで、皮、頭、尾を取つて縦に二切にします。人參、馬鈴薯を各二三分角に切つて鹽茹にし、青豆（罐詰）は水氣を切る。これを淡いソースの中に海老と共に入れて温めます。

御飯は米二合にカレンズ十匁を少々入れて普通に煮ます。盛ります時に御飯はコーヒー茶碗か何か型に入れて其の前にソースを盛ると美しく見えます。

△ロースト

材料（鳥、鹽、バタ、胡椒少々、サラドの材料は隨意に擇ばれ度し。）

ローストになるやうに鳥ケ鳥屋に作らせましたらお腹に鹽を振り次に全身にバタをぬり、鹽と胡椒を振つてテンパンで蒸燒に致します。附合せとしてサラドを用ひます。

以上のものに菓子としてミンスパイにエンゼルゼリー位を出しコーヒー或は紅茶をお出しになつたらばいゝでせう。

讀者への御願

編者より

▲本誌も發行以來無事に生ひ立ちまして、今やクリスマス號を出すことになりました。此分では、益々成長して、婦人の擁護者たらんとする初志を貫徹する事が出來ると存じます。これは偏に讀者さまの御蔭であることを感謝します。

▲雜誌の中で週刊は一番經營困難といはれてゐますが、本誌も其の例に洩れません。本誌の擴張法としては廣告よりも個人勸誘です、其故讀者さんが常に新しい讀者を御紹介下さるやうにお願ひ致します。

▲若し讀者さんの凡てが月に一人づゝの讀者を御紹介下されば、一月の末には二倍の讀者を得られる譯です。何卒御援助を御願ひ致します。

小説

奴隷（其七）

松本雲舟

十

　敏子の歸つた後で、政雄は言ひ知れぬ寂しさを感じた。空虚の情にゐても立つても居られぬのであつた。机の前に坐つて、下腹に力を入れて見たが、書物を讀む氣にもなれなかつた。

「こんな事でどうする」と自ら叱つて見たが、意馬も心猿も閉息してしまつて、心は少しも動かぬのであつた。

　唯いつまでも茫然してゐたが、政雄は不圖想ひ出して、室の戸棚を開けた。小さな行李の中には、二三年來敏子から來た手紙が一杯入つてゐるのであつた。それは敏子の活きた情の歷史で、懷しい記憶の籠れるものであつた。政雄は行李を開けて、手紙や葉書の束を取り出した。

「これを皆燒いてしまはう」と政雄は呟いた。二三の手紙を火鉢の中へ入れて、マッチを擦つたが、それを封筒の端へ持つてゆく政雄の手は顫へてゐた。

　封筒の端は一二寸黑く焦げて行つたが。中々燃えさうもなかつた。政雄は止むを得ず、封筒から手紙を引き出した。卷紙に書かれた文字を讀むともなく眼にふれると、

「たよりない私はあなたによりて人生の旅路のオーシスを見出しました」

といふ文字があり／＼と映じた。

「敏子さんはこんな事を言つて、私を欺したのか」と政雄は怒りの情を感じたが、直ぐ又思ひ返した

「敏子さんが恁う言つた情には僞りがなかつたらう。いはゞ兄として私に賴つたのだ。私がそれを戀人として取扱つたのが間違つてゐたのだ。怒つたりなにかするのは、私の足らぬ所だ」

　恁う想ふと、急に敏子の手紙を燒くだけの勇氣がなくなつたので、封筒が少し焦げた手紙を火鉢から取り出した。

　政雄は卷紙をくり擴げて讀んで見た。それは房州の避暑地から敏子が寄越したもので、海岸生活の敍景などが美しく書いてあつた。これだけの才筆があるのに、これを伸させぬのは惜しいものだと自分でも想ひ、敏子にも言つた事がある政雄の想ひは此時又浮んで來た。

「私の引着けられたのは敏子さんの此の才筆であつた。それから……」と政雄は暫く考へて、「あの涼しい水晶のやうな眼と……それから、透き通るやうな白い皮膚……………」

　政雄の愛情は又湧然として胸に溢れた。

「敏子は他の男と結婚するのだ」と想ひ返して、なんだかそれが夢のやうな氣がして、「戲談ではない」と言ひたくなつた。

　敏子が拔手を切つて泳いでゆく、其の後を追うてゆく自分の足や手がこはばつてどうしても追ひつけぬやうな感じがして來た。

「敏子は永久に自分のものでなくなる」政雄はこの事實を認めたが何故さうなるのが解らぬのであつた。

「全心全力を以て愛すれば、必ず報はれる」これは政雄の信仰なのだが、今や事實は其の反對の結果をもたらした。

「いや、待てよ」と政雄は思ひ返した。「報はれてゐても、私はそれを悟らぬのではなからうか。敏子は他の人と結婚しても、私を棄てるとはいはなかつた。いつまでも兄さんでゐて欲しいと言つた。兄妹である以上を望むのは、愛ではないかも知れぬ。愛情は兄と妹で澤山だ。それ以上は性慾といふや

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

うな動物的な境域に入つてしまう。天國は娶らず嫁がずといふから、性慾はない筈だ。純粋の愛の支配する天國には、性慾はないのだらう。

政雄はかう反省すると、敏子がいつでも兄さんでゐて下さいと言つた其の要求以外の事を望んだのは、自分が惡いのだとつくづく想へて來た。眞實の兄なら、妹の結婚を大に喜ばねばならぬ。なぜ自分は敏子の結婚を喜ばぬのか。

「喜ぶばかりではない、――積極的に敏子の世話をしてやらねばならぬ。……」

恁う考へて政雄は吃驚して躍り上つた。

「あゝ惡かつた」と想ふと同時に敏子の結婚が果して敏子の幸福かどうかといふ問題が、心に湧いて來たのであつた。

「敏子は其の男に欺されてゐるのではなからうか」、政雄は恁う思つて、直ぐ敏子を訪ねるつもりで外出の用意をした。

慰安録

精神上生活上種々御煩悶のある方は何卒御投稿下さい、御力添へになりたいと存じます。

煙草屋の娘と

私は基督教を信ずる者ですが、煙草が好きで、日に敷島を二つ位ふかしました。近所の煙草屋へ毎日買ひにゆきましたが、或日そこの娘さんが「あなたは信者でありながらなぜ煙草を召上るのですか」と懇々と意見をしてくれますので、心に大に恥て止める事にしました。後で其の娘さんも信者である事が解りました。

二人はそれから交際をして互に氣心が解るやうになり、末は夫婦と堅い約束をしました。併し信者同志などで汚れた行ひは少しもありません。私は家へ歸つて其の事を父に相談しますと、父は煙草屋の娘と夫婦になるなどは以ての外であるといつて反對しました。其の娘は高等女學校を三年まで通つたもので、又士族の生れで家柄もよいのです、其の人品も私の妻として少しも恥かしくありません。でも、父は頑固に、若し強ひて貰ふなら、家によせつけないと申します。私と其の娘とはどんな事があつても一緒になりたいと思ふのですが、この場合いかなる處置を取つたら宜しいでせうか。(田村)

▲あなたの意志を貫徹しても差支へありませんが、けれども無理のないやうになさいまし。お父さんの意志を全く無にする事は、あなたのために能くありませんから、あなたから、又其の娘から、能くお父さんの心をなだめるやうにお勉めなさいまし。其の娘の柔和で、親切な心がお父さんに解つて、自分の嫁にしても恥しくないと思ひなさるやうになるをお待ちなさることが必要だと思ひます。(記者)

良い家庭に

私は今某女學校に通つて居りますが、學費が少々足りません、食費として毎月五六圓は差上げることが出來るのですが、何處か良家で、置いて下さる方はないものでせうか。學科の閑に裁縫なり、何になり御手傳致します。(きみ子)

▲五六圓の食費を入れることが出來るなら、置いて下さる御家があらうと思はれます、あなたの御望みをかなへて下さる方が本誌の讀者の方の中にありますことを望みます。(記者)

一と鋏みの天國と地獄

聖夜の慰み

記者

鶴や小舟を折る時は四角な紙を使ひますが、これは丁度半紙一枚の割の長方形の紙を使ひます。最初は鶴や小舟のやうに、三角に折り重ね、その三角をまた二つに折り重ねますと、四重の三角形が出來ます。今度は三角の頂點を中心として、縦に眞二つに折り、その儘でまた縦に眞二つに折ります。これを更らに眞二つに折りますと、大層長いものになりますが、最後の折り目を、下から上へと重ねた儘で鋏を入れます。その紙片を一つも失はぬやうに、折り廣ろげて、智惠の輪を並らべるやうに平らな處に置いて御覧なさい。形ちのよい十字架と HELL といふ文字が出來ます。Hell は英語で地獄といふ事です。一枚の紙で、一と鋏で、天國と地獄が出來るのは、よいお慰みではございませんか。更らに實物を御望みの方は、郵券二錢を添えて御申越しになれば、早速送つて差上げます

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ナターさん（上）

阪東みちえ

ナターさんは私の一番好きな西洋人であつた、天から降つて來たらこんな人があるのかと思つた事もある。年はいくつだか聞いて見た事がないからわからないが、容貌は隨分奇麗であつた。「美しい人ですね」といふのが、此の人に出逢つた人の間に取りかはされる最初の挨拶であつた。色が白くて、目が丸くて、頰が紅色で、ゴム人形のやうな顏だと私はいつも思つて居た。

始めて此の人を見たのは、ある學校の寄宿舍の二階であつた。英國からシベリヤ鐵道に乘つて、傳道の目的で日本に着いた此の人が日本語練習の爲めに、私たちと一所に寄宿舍生活に這入られた時であつた。ナターさんは二階の廊下で大勢の寄宿生に取りまかれて、にこ〳〵笑ひながら立つて居た。私はたゞの西洋人だと思つて別に氣にもとめなかつた。若かい美しい西洋人といふのがみんなの好奇心を惹いて、寄宿舍中は大騷ぎであつた。そしてひまさへあれば此の人のまわりに集つた。クリスマスの頃であつた。ナターさんは倫敦に居るをばさんから手製の帽子を贈つてもらつた。巾ひろのリボンの紐のついた頭巾形のものであつた。生れたてのやうな顏をして居るナターさんに此帽子は大變よく似合つた。此帽子をかぶつたナターさんを見ると、いつもあやして見たい心持がした。その時分のある寒い晩であつた。私たちが四五人明るい電氣燈の下に集つて裁縫や編物などをして居る處へ、ナターさんが外から歸つて來た。寒い所を歩いて來たので、ナターさんの顏はいつもよりずつと奇麗であつた。白い所は益白く、紅色の頰は美しい色に匂つて居た。私たちが坐つて居るものだから、ナターさんもお行儀よくきちんと坐つて、私たちの仕事や編み物を見て居た。編み物をして居た一人が、ナターさんの日本語がよくわからないといふ事を考へても見ないで「あなたシビレが切れはしませんか」つて云つたら、ナターさんは「私、シベリヤから來ました」と答へてすました顏をして居た。そしてみんなが笑ひころぶのを不思議さうに見まはした。

例の頭巾が側に脫いであるのを見て、一人が「その頭巾かぶつて見せて下さい」と英語で云つた。私は、そんな子供に云ふやうな事は云はない方がよいのに……………

ナターさんはさぞ困るだらうにと思つて見て居るとナターさんは直に頭巾を頭の上にのせて、眞白な顋の下でリボンを結んでにこ〳〵笑つて見せた。私はこんな無邪氣な所作をまだ忘れずに居るナターさんを尊いと思つた。

此人は倫敦から十里ほどはなれた田舍の舊家に生れた。邸宅は城廓のやうな構へで、門から玄關まで半町ほどの間、通り路の兩側に幾百といふ年數を經た芝草が冬も枯れずに美しい綠色に光つて居た。お父さんが大變敬虔なクリスチャンで、毎朝未明に起床して、家族一同と共に、祭壇を設けた大廣間で朝の祈禱を行はれる。蠟燭をたてた銀の燭臺を並べて、そのまわりに一同聖書を開いて、讃美歌を稱へて禮拜をする。九人の女中は悉く黑い着物の裾をひいて禮拜に加はる掟なのであるさうな。

そして、ナターさんの數多い兄弟は、神の敎を擴める使命を以て、みんな未開の土地へ出かけて居られる、兄さんは亞弗利加の內地に、姉さんは西藏に、今一人の兄さんは印度の北部に、みんな世の中を捨てゝ神の尊い仕事に力を盡して居られる。ナターさんは兄さんの後から印度に行かれる筈の處を、クリスト教靑年會の關係から、つい日本に來られるやうになつた。「日本はあまり開け過ぎて居ます」とよく云つて居た。留守はマリヤのやうな顏をした一番上の姉さんが預つて、お父樣の世話から家事一切をきりもりして居られる。末つ子のナターさんは特に父樣の秘藏で、手ばなすのがいやだつたのださうであるが、神樣の思召だからと云つて船の出るまで見送つて來られた。頭が明晰なので「あなたはそんな遠い處へ行かないで專門の學科を研究すればよいのに」と云つてケンブリツヂ大學の先生が惜まれた。

ナターさんの頭の中は神樣で一ぱいになつて居るらしかつた。名譽や富貴は此人に塵ほこり位なものらしかつた。「私は神樣の花嫁樣ですよ」などゝ、可愛い笑くぼを見

せて笑つた事もあつた。「私の一番樂しいのは靜な所でたつた一人祈禱をする時ですよ」「私、國に居る時倫敦の貧民學校を教へましたの、隨分面白かつたのですよ」など云つた。そしてそれが詞のあやだけではないと私はたしかに信じる事が出來た。私はだん〳〵ナターさんが好きになつて來た。そしてだん〳〵親しくなつて、しまひに金輪際好きになつた。雪の如く美しいとはかういふ人の魂の事であらうかと考へたりした事もある。人間に見られないやうな氣高い所をそなへて居て、そして人間が生れ落ちた時のまゝな無邪氣さを失はずに居る此人を、私は理想通りの婦人だと思つても見た。始めの間は、私は此の人に特別の興味を持つては居なかつた。美しい人だと思つて遠くから眺めて居たゞけであつた。みんなが大騷ぎするのに私だけ變な顏をして居るものだから、ある日ナターさんは「ちつと私の部屋へ遊びに來て下さい」と片言のやうな日本語でそれでもやさしい聲でたのむやうに云つた。それは春休みで、私が二階の硝子窓から櫻の花を見て居た時であつた。私は直に後についた。そしていろ〳〵の寫眞を見せてもらつた。お父さんのもあつた。大分前に亡くなられたお母さんのもあつた。兄さんのも姉さんのも家族全體一緒なのもあつた。ナターさんの五つ位の時のもあつた。お饅頭のやうなまるいお菓子を食べながら寫つて居るのであつた。「きかなくつてねー」と甘い工合に日本語でその寫眞の評をした。「大變日本語がお上手ですよ」つてほめたら、いつものやうににこ〳〵して居た。ナターさんと私とは此時以來だん〳〵口を利くやうになつてとう〳〵仲好しになつてしまつた。

時事

◎**教育御沙汰書**　高田文部大臣は十日宮中に參內　陛下より左の御沙汰を拜したるが是れ實に教育を御軫念あらせるゝ　陛下の思召より出でたるものなり

御沙汰書

皇考夙ニ心ヲ教育ノ事ニ勞セラレ制ヲ定メ令ヲ布キ又勅シテ其ノ大綱ヲ昭ニシタマヘリ

朕遺緒ヲ紹述シテ倍々其ノ振興ヲ圖ラムトス今ヤ人文日進ノ時ニ方リ教育ノ任ニ在ル者克ク朕カ意ヲ體シ以テ皇考ノ彝訓ヲ對揚セムコトヲ期セヨ

◎**皇后宮御還宮期**　皇后陛下には來春二月中に青山御所より宮城へ御還幸遊さるべしと。

◎**御余り乳拜受**　東京朝日紙の報道によれば、皇后陛下には御肥立極めて御佳良に渡らせられ、日夜皇子殿下の御召用に供する御乳も御乳人角田ことのよりも陛下御自身の乳を多量に御侑め遊ばさるゝ趣拜承せしが尙御余りの御乳御乳房に充たせらるゝを以て、陛下には侍醫の言上を聞召し、詮議の結果本年九月誕生の現皇后宮屬陸軍步兵中尉小野八千雄氏長男八壽雄氏を召出すことになれりと。

●**袁氏即位承諾**　十三日北京發電に依れば袁總統は皇帝たる事を承諾したりと。

●**聯合國の意志聲明**　支那帝政問題に對して聯合國にては十三日に各自の意見まとまれるを以て帝國政府にては十四日陸駐日公使に聲明の趣旨を傳達せりと聲明內容は秘密なれど、帝制實行延期の趣旨なることといふまでもなし。

●**父は大將、子は中將**　十三日發表されたる海軍進級異動に依り土屋光金(五十二)氏は海軍中將に昇進したるが、氏は後備陸軍大將土屋光春氏(六十八)の長男にて、父子相並んで大將たり中將たるは稀れに見る芽出度き家庭なり。

●**女流教育家招待**　十一日上野精養軒にて叙勳女流教育家招待會あり引續き十三日正午より帝國ホテルに於て毛利公母堂鍋島侯夫人等の發起にかゝる叙勳祝賀會が催され、三輪田、棚橋、跡見、佐方、後閑、津田、山脇、佐藤の八女史招待されたり。

◎**花の日の賣上金**　九日東京市奉祝日當日の花の日は比較的不成績にて計金一千六百四十一圓九十七錢の賣上を示せり、先月九日、十日兩日の賣上高を合算せば約二萬圓に達する譯なり。

◎**岩野淸子勝訴**　夫泡鳴氏に對する同居請求の訴訟、泡鳴氏より淸子離婚請求の反訴は東京地方裁判所にて審理中なりしが十三日淸子は泡鳴と同居すべし泡鳴の請求は理由なきを以て却下すとの判決ありたり淸子は泡鳴氏と會談の上離婚すべしと。

◎**鎌田寄人氏逝く**　御歌所寄人鎌田正夫氏(七二)は十三日午後一時靑山高樹町の自宅にて逝去せり。

◎**最高齡者逝く**　御大典に際し天盃を受けたる高齡者中の最高齡者たりし前田侯爵家々扶井上如苞氏母堂よね刀自(百七歲)及び牛込區赤城下町三三手相見友野吉藏(百八歲)は同じく十二日眠るが如く死亡せり。

◎**電話廿五年記念日**　明治廿三年十二月十六日始めて京濱間に電話事業が開始されてより本月十六日は滿廿五年に相當せるを以て遞信省にては之を記念する爲め橫濱交換手工夫等三百名に對し特別の慰勞金を送れり。

◎**ナイルス氏の快飛行**　十一日十二日兩日米國飛行家ナイルス氏は靑山練兵場に於て宙返り曲乘り飛行を試み非常なる喝采を博したり兩日とも宮殿下の御台覽あり。

◎**出產制限の問題**　米人マルガレットサンガア夫人が近頃「家族制限論」と云ふ小冊子を出版し生兒數の制限論を唱道しつゝありしが其良人たるヰリアム氏は此小冊

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

子を刑事巡査に配布したるが原因となりて紐育の法廷に於てマッキナニイ氏の判決の下に「生產制限說の廣布は人類の法則に反するのみならず神の法則に反する犯罪なり」として有罪を宣告され、米國の論壇は出產制限論の贊否盛んなりと。

◉例年より後れた入營　本年は御大典の爲め陸軍の入營は例年より十日後れて十一日行はれたり。

◎上旬貿易出超　十二月上旬の出超八百六十五萬八千圓なり。

女學校だより

▲駿臺英和女學校　十一月廿三日午後二時、染井墓地に於て故同校教師キッダー氏の建碑式を擧行せり。

▲日本女子商業學校　大典紀念事業として作法室と圖書室を增築する爲め、同校卒業生主催となり十二日市村座に寄附演藝會を催したり。

▲實踐高等女學校　校舍改築に就き目下寄附金募集中の由。

▲婦人問題研究會　日本女子大學校にて此程第一回を開催し、今後も時々催すべしと。

個人消息

△廣岡淺子　目下岡山に傳道中

△大村嘉代子　岳父代議士大村和吉郞氏逝去のため鄕里伊豆に歸省せられたり。

△笹木幸子　女子大學講師なる同姉は十四日熊谷の松本眞平氏と結婚せられたり。

△三田靜子　今月十五日牛込區築地町聖バルナバ教會にて手束猷之介氏と結婚せられたり。

△兒玉鶴子　故伯兒玉源太郞氏末女なる同孃（十八）は十六日侯爵嗣子木戶幸一氏と結婚されたり。

新刊紹介

●正史上のロマンス

（中島孤島譯、坪內逍遙補）

現文部大臣高田早苗氏が昨年歐米を漫遊された時、桑港より船に上らんとするに先ち、船中の無聊を慰むるため若干の新著を購はれたが、其の中に「フエマス●アップイニチース●オブ●ヒストリー」といふ書物があつた。上下二千年の歷史に其名を留めたる英雄美人名士名媛の情話を一卷の中に收めてあるので、宛然平家物語や太平記でも讀むやうに情趣津々として盡きず、大洋の寂寞を忘れられたさうである。

高田文相は歸朝後該書の飜譯を坪內博士に謀られ、今度早稻田から出る「通俗世界全史」の別卷として出すことになつた。中島孤島氏が飜譯の任に當られ、坪內博士の增補を經て「正史上のロマンス」といふ題名で江湖に出づることになつた。

題を分つこと十四、「世界を戀愛に賭せしアントニーとクレオパトラの悲劇」「尼となりて薄命のアベラールに操を立てしエロイズの悲戀」、「政治上に媚嫵術を利用せし英國女王エリザベスの眞の情人」、「夫王をも情夫をも非業に死なしめし蘇國女王メリーの意中の人」「男性的なる瑞典女王クリスチナの情史」「露國女王エカテリナとポテムキン公爵との關係」「佛國王妃マリー●アントワネットの眞事蹟」「烈女コルデーを慕ひて命を棄てしルックスのロマンス」、「國家の爲にナポレオン第一世に操を賣りしマリヤ●ワレウスカの傳」「ナポレオン第一世の妹ポーリヌ●ボナパルトの性行」、「ナポレオン第一世の第二の后マリヤ●ルイゼの傳」「バヴリヤ王をして王冠を失はしめし踊子ロラ●モンテスの傳」「一代の政治家ガンベッタを煩悶せしめしレオニー●レオンの傳」、「舞臺にて天使の如く、家にては卑婦たりし女優ラシエルの傳」

皆これ小說よりも奇なるロマンチックな事實である。烈婦シャーロット●コルデーが傳を叙し、彼女と初めて法廷に於て相知りし靑年の戀を叙する當り、烈女好きの馬琴の意匠と雖も未だ曾て想倒する能はざる所であらう。又奈翁がポーランドの一貴女を說くの條はバーナード●ショーが奈翁を描ける「運命の人」を拔くこと數等である。實に本書は世界通俗全史と相待つて、日本に歷史上の知識を普及する上に深大の効果があるであらう。全篇を通じて婦人が大活躍してゐるので、婦人の讀物としても最も歡迎すべきものと想ふ。

（定價一圓二十錢牛込區早稻田出版部發行）

編輯室より

今度から編輯上の体裁を少し變へて見ました。第二頁の時事面を第九頁に移したのはもつと事實を壓搾して、紙面に餘裕を作らうと思つたからです。尙漸次体裁も內容も改良を加へて行きたいと思つてゐます。▲讀者と記者との關係を來年からもつと親しくしたいと存じます。唯雜誌を讀んでいたゞくだけではつまりません。もつと讀者さんの心持を知りたい、御考を聽せていたゞきたい。これが記者の願です、其のために「婦人の聲」を御利用下さるか又御原稿を寄送して下さるなら、紙面の許す限り掲載いたします▲御投稿の手始めとして、讀者さまの御鄕里にある御正月のお話を送つて下さる事を願ひます傳說もよいし、奇習も面白いと存じます▲編輯室の近所の屋根の上では、此頃雀が澤山集つて來て議會でもしてゐるやうに、チウ〳〵騷いでゐます。鳩が議長然と其の側に控へて居ることもあります。時には一羽の雀が張番をして、他の多くの雀が居眠りをしてゐる事もあります、時節柄雀の議會も可笑くはありません。

購讀者諸君へ

購讀料をまだ御拂ひ込みにならぬ方は、どうぞ御願ひいたします振替は東京三一六六〇番ですから之れを御使用下された方が御便利です。振替御使用の時には、取り扱料として一錢餘分に御拂込み下さい。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

社告

人事相談所

口本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に悩める男女に同情し、精神上、生活上、職業上其他有らゆる相談に應じ、無料にて最も善き解決を與へます。但し費用を要する御相談は實費を申受けます。

口本所は絶對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財産調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依頼に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれには依頼者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

口本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外、午後零時より、午後四時迄です。

顧問

衆議院議員 文學士 小山東助
辯護士 法學士 杉山賢三
法學士 高田愼吾
婦人週報主幹 小橋三四子

主任（前讀賣新聞身の上相談部主任）松本雲舟

東京牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社内
人事相談所
電話番町四五六六番

白粉學問

最近新發明の理想的白粉

▲不思議な作用のある白粉

從來どんな白粉でも、其の効果は只だ附けた時に白く見せるといふだけで、附けた白粉を洗つた後までも其の美化力が殘つて行くといふ白粉は如何に學者が頭を痛めても、今まで遂に出來ませんでしたところが、最近に至つて、彼のエメンバー、オブ、バーマシャル、ソサイチーの英國學位を有する名高い藥學者で、現に日本名物の稱あるクラブ洗粉本店に技師たる英人ピー、エル、スミス氏は、白粉製造の技術に特別の技倆を有つて居る數名の日本藥學者と協力して、先年來苦心に苦心を積み、

▲研究に研究を重ねた結果

今回新たに不思議な作用のある白粉を發明されたのであります。夫れは附けた時に高尚で美しい艶が出るばかりでなく、洗つた後の生地の色までも自然に白く美しくなるといふ實に不思議な作用を有つた最新式の白粉で、即ち今回新たに改良發賣されたクラブ白粉が夫であります。クラブ白粉は從前とても天下一品の優秀な白粉として畏き邊を始め奉り上中流の御婦人間に盛んに愛用されて居りましたが、今回右の如く不思議な特効のあるクラブ本店獨特の

▲新發明の美身劑が配合

されました結果、其の品質と云ひ効果と云ひ、所謂被覆力と云ひ他の白粉には全然眞似の出來ぬ優秀なものとなり、凡ての點に於て完全な理想の白粉となつたのでございます。殊に此の最新式のクラブ白粉は、非常に愼密に研和してありますので、其の分子が極めて細かく、自然、乘りも延びも遙に他の白粉に優り、思ひの儘にムラなく附いて、從來の白粉とは違ひ、化粧をした時に『白粉を附けました』と云はぬばかりの不自然な故とらしい所は少しもなく、化粧をして居るか居らぬか他人には分らない位に如何にも地肌の自然から現はれた白さ美しさに見え何とも云へぬ上品な氣高い色艶が出て何時までもお顔を若々しく見せます上に、前述の通り、附けた時に美しく匂やかなばかりでなく、

▲洗つた後の生地の色迄も不思議に白く美しくなる

と云ふ他に類のない特効を有て居ます。斯樣に不思議な効果のあるクラブ白粉は、明治四十四年五月、時の皇后陛下東京勸業展覽會へ行啓の砌、畏くも御目に留り、御買上の光榮を賜はれるを始めとして、爾來高貴御料の名譽を忝うし更に昨大正三年十一月十六日には畏くも

▲天覽の上宮内省御買上

の光榮を賜はり、最近では澤山の品々まで皇后宮職御用の恩命を拜し其他各宮家を始め奉り、高貴上流の御化粧料として朝野の貴婦人令孃方から盛んに御賞用を忝し、殊に前述の如くクラブ獨特の美身劑を配合致しましてからは一層其の聲價を高め、今や東京大阪は申すに及ばず、全國大都市の御婦人方は何れも、爭つて此のクラブ白粉をお使ひになる樣になりました。是れと申すも本年新發明の原料を加へ更に九月十七日以來八月發明の特種の原料を配合した爲

▲全く白粉界に一新紀元

を作つた最新式クラブ白粉の優秀な品質が齎した自然の結果です。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

■最近の發明品■

◎姿を美しくする帯上げ止め

定價三十錢ヨリ

生れつき姿の惡るい方でも帯を上手にしめると見違へる様に恰好よくなります誠に婦人の姿は帯の形ち一つで御上品にも「しだら」なくもなりますが、さて帯を上手に締めると云ふ事も簡單の様で中々六ケ敷事で十中の八九は「おたいこ」が「だぶ」ついて見苦るしくなつて居ります之れはつまり帯上げが下がるからであります然るに本品を御使用遊ばさばどんなにしても帯上げの下がる事なく「おたいこ」の形ちも締めたまゝに「きちん」となつて常に後ろ姿が美くしく保たれます、のみならず帯上げを高く脊負ひ上げられますから一般に丈の低い日本婦人には帯から下が長く見えて肩、脊中、帯の調和が誠によく姿が「ほつそり」見えます、又衛生上本品をお用になれば帯上げで胸を締めつけないでも濟むから呼吸が自然で女子本來の呼吸（即ち胸式呼吸）を完全に營む事が出來ますつまり内臓（肺、心臓、胃等）の機能を十分に行ふ事が出來る理けであります、故に衛生上極めて理想的の品であります。（時節柄「クリスマス」及年末の贈物には新らしい氣のきいた品であります）

■販賣店■

三越呉服店
白木屋呉服店
松屋呉服店
松坂屋呉服店
大西白牡丹
小間物問屋 万新商店
同 富士喜商店
本社代理部店

クリーニング

ドライクリーニングとは一滴の水をも用ひずして毛織仕立物は勿論和服は絹布其他綿入れのまゝ如何なる汚れも美麗に殆んど新調同様にするのであります。

特長 一地質を損せぬ事二變色伸縮せぬ事三型が少しも崩れぬ事四殺菌消毒の効力ある事五如何なる汚れも綺麗になる事六光澤を一層大ならしむる事

染色 佛國式の染方を致しますから堅牢優美に保險付の染色でありますゆゑ如何に變色したる御品も殆んど新調同様になりますから御試しを願ひます

特色 最近輸入の機械と最新の學理と卓越せる技術を以て親切丁寧に御約束を違はず迅速に御取扱ひ申候

婦人洋服、同白地及ポンジー、スカート、同ドレス、同ポンジー、夜會服、ブラウス、帽子駝鳥毛、ボーア、マッフ、スカーフ、ショール毛皮襟巻、白皮及絹靴下、吾妻コート、御召コート、白無垢、御召綿入、同袷、同單衣、帯、縮緬腰巻、同袖、半襟、洋傘

◎此外如何なる御品でもクリーニング並に染色が出來ます

和洋服 羽毛皮 敷物窓掛 クリーニング（無水清淨） 染色 プレッシング（洋服皺伸シ）

各國大公使館御用 帝國ホテル御用

日比谷クリーニング商會

本店東京日比谷公園停留場際（電新三一〇八番）

支店 東京赤坂區田町五ノ八 横濱市元町一丁目（谷戸坂） 大連伊勢町十六（電話九五二番）

（御一報次第參上御用相違可申候）

院長診察月、水、木、
林、峰間兩副長は
麹町區三番町三十番
電、番六二番
東
院長 醫學士
電話ちがさき二番
相州茅ケ崎海濱
河野、高橋兩副長
院長診察土曜日

クリスマス装飾、
西洋草花、盆栽、
東京新
種苗直輸出入業

實利主義の 歳末
最も適當なる、
製造の
三十番ミシン
定價十二圓――特
御購買後も他のミシ
種類及定價
の方は婦人
申込を乞ふ
婦人

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

金午前
目下當院に在勤
地(市ケ見附内)

洋内科醫院

高田畊安

南湖院

(從停車場半里)
は目下當院に在勤
午後入院診察後應需

歳暮贈物、
花環盛花、
宿電車終點

東京園藝社

電話番町三四五三

贈答品!!

シンガミシン會社

ン(俗稱フジミシン)
價七圓五十錢也
ンと御交換致します。
表の目錄御望み
週報社へ直接御

週報社代理部

護謨製氷枕

左の特價で御取次をします
品は御請合致します。

大 四十五錢の處 特價參拾五錢 送料貳錢
小 四十錢の處 特價參拾錢 送料貳錢

婦人週報社代理部

家庭園藝苗物提供

伊勢撫子苗 花銘付三本壹圓(送料共)
同 同五本壹圓參拾錢(同)
同 雜五本壹圓(同)
麝香撫子苗赤白 一株貳拾五錢(送料共)

伊勢撫子は變化に富み且つ色彩豐富にして本邦の草花中最も優美なり、麝香撫子は色彩艶麗にして芳香無比なり
畏くも先帝陛下御鍾愛し賜ひしは此伊勢撫子なりと拜承す

婦人週報社代理部

產科 婦人科 小兒科

東京府内藤新宿番衆町卅一番地
女醫 井出茂代
電話番町三六七七番

齒科

ドクトル 富田貞一
電話浪花五四〇五
日本橋區高砂町六
(久松町停留場より西一丁)

入院應求

院長ドクトル 淺田繁太郎

淺田小兒科醫院

芝區田村町十六
(電話芝三二一七番)

◎產婦人科
◎小兒科

宅診午前 往診午後
病室、產室ヲ設ケ入院ノ需ニ應ズ
院長 女醫 吉岡彌生
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

電話番町二二五七

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

クリスマスの贈物として本書に若くものなし

松本雲舟譯　改譯縮刷第三版

クオヷチス
改譯縮刷
何處へ行く

▼總クロース箱入天金　定價金壹圓拾錢　郵税金八錢▲

波蘭文豪の世界的名著『クオヷチス』の譯者として松本氏の名聲高し

本書世に出で、既に九年、尚多くの愛讀者を有するは原著者の結構頗る雄大にして**強烈なる魅力**を有するに依ると雖も雲舟氏の靈筆能く之を活譯せずんば焉んぞ如斯を得んや。今や玆に讀者の便を謀り**縮刷を出版**するに先んじ、雲舟氏は苦心を以て本書の改譯增補に當られたるが故に、面目更に**一層の光彩**を添ゆるに至りぬ百合の如く淸きリジアと熱誠なるヴイニチウスの戀を中心として展開せる**壯快悲壯**なる物語の妙味を知らんとする者は本書を求められん事を

發賣
東京市本郷區本富士町二番地　振替口座東京二五二〇〇番　**石川文榮堂**
東京市本郷區駒込林町二三七　振替口座東京二五〇一〇番　**三陽堂**

發兌
東京市神田區錦町一の十九　振替口座東京六二九四番　**誠文堂**

〔好評如湧〕

くりすますが近寄りました!!

▲贈物に此二つの良書をお薦めします▲

宗教詩

◉英國マイヤーズ著　植村正久序　東京帝國文科大學講師　齋藤勇譯

◎**聖パウロ**

高尚な著述で、内容にふさはしい装幀で、然も五十錢とは甚だ廉いと云ふのが一般の定評であります。

四六判頗美本　定價五十錢　送料六錢

告白文

◉日向きむ子著

◎**銀と藍**

著者は純正なる信仰の立場から、自己の眞生活を赤裸に披瀝してゐます。殊に著者の詩歌や俳句や感想錄は無限の趣味が溢れてゐます。

四六判頗美本　定價八十五錢　送料八錢

東京麹町　**丁未出版社**　三丁目

京都染物

御誂御好に應じ御古物染直しにても御新
らしき品同樣美麗にいたし候
あらいはり、しみぬき、ゆのし
右之通迅速を旨とし精々入念廉價に調進
可仕候間多少に拘らず御用向被仰付度偏
に奉願上候　宮内省御初め女子大學校の御
用を承り居候

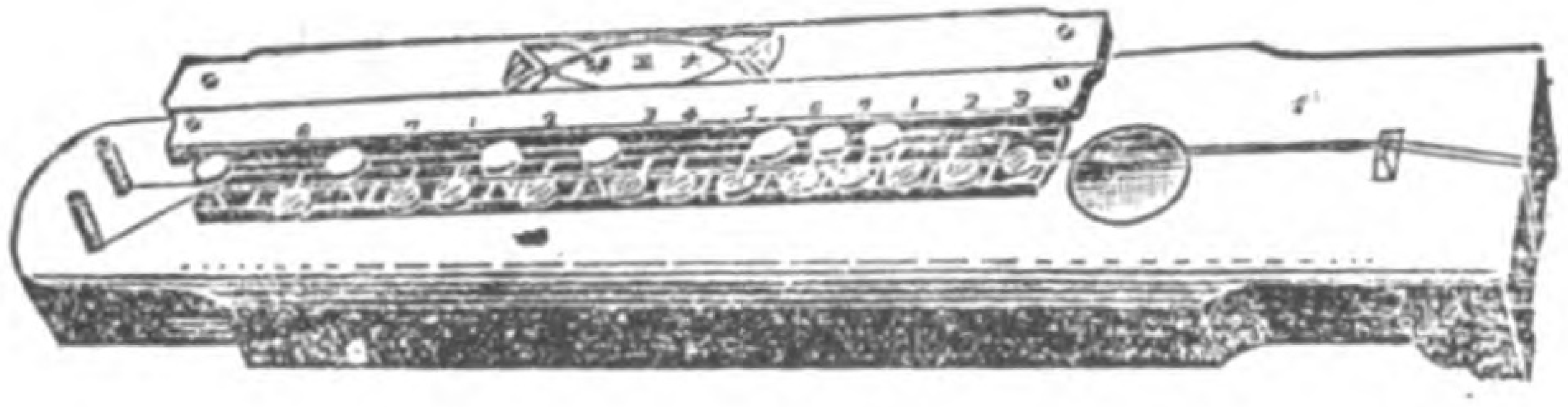
東京市本郷區湯島新花町八番地（靈雲寺門前）
井筒屋支店　**中村榮次郎**　電話下谷五六七四

クリスマスを祝す

麹町區飯田町五丁目五番地
大關看護婦會
會長　大關チ

大正四年十一月四日第三種郵便物認可
大正四年十二月十七日發行

本紙定價　一部金四錢五厘（郵送料共）　半年（廿六部）前金壹圓　▲三月十三部　▲一年（五十二部）



▲歳末年始の最好贈答品は

最新流行の樂器 大正琴に限り升

▼演奏――は極めて容易で何人にても獨習出來
▼音色――は高尚優雅で他に比類なく
▼音量――は琴二面ご打合せして負けぬ位
▼奏曲――は箏、長唄、端唄、軍歌、唱歌、進行曲、
▼定價――(小)一圓五十錢、二圓五十錢、二圓八十錢
(大)三圓五十錢、三圓八十錢
▼體裁――よき紙箱入りにして爪、糸、本、附屬
▼僞物――あり御注意を願ひます

關東一手販賣元
東京銀座三丁目二番地
十字屋樂器店
電話 京橋 一二二 二八八五四 九番

特約店募集

營業品概目

◎オルガン、ピアノ
◎バイオリン、バンジョー
◎マンドリン、ギター
◎手風琴、ハーモニカ
◎オルゴール、銀笛
◎紙腔琴、蓄音器
◎樂隊用、吹奏樂器類
◎和洋樂譜、音樂書類
◎其他種々

目錄御一報次第贈呈

御大典記念 御琴糸 八千代

◎尚八千代發賣紀念の御慰みとして各種の景品券添附いたし置候

雲上の御盛典を祝し奉り幾久しく記念の爲め特に調製の御琴糸は玉椿の**八千代**と名づけ花の盛りの永き日も琴柱に雁のわたる秋の夕べも八千代の糸に通ふ千代田の松風の妙なる音色を御試演あつて行末永く御用命の程を願奉つる

□御琴三味線其他邦樂器類
□並に小間物類一式
□各流音曲いといろく
□博信堂發行ことの譜本

發賣元
東京市日本橋區室町（三越呉服店前）
木屋號 岡野樂器店
電話本局 一四三三
振替口座東京 一七三四四

廣告料 一行金四拾錢 一段拾貳圓 一頁金六拾圓
前金五十四錢 一部）前金貳圓
東京市牛込市谷田町二丁目十七番地
婦人週報社
電話番町四五六六番
振替東京三[illegible]

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA